

# 第2次七戸町 長期総合計画

～潤いと彩りあふれる田園文化都市をめざして～

2016 ▶ 2025

平成28年度

平成37年度

概要版

しちのへ

青森県七戸町







平成17年3月31日の新「七戸町」誕生から10年が経過しました。

この間、町民の皆様と行政がお互いに知恵を出し合い、町勢発展のためいろいろな施策に取り組んできました。その中でも、平成22年の東北新幹線七戸十和田駅の開業は、町民に鮮烈な記憶を残し、地域に大きな変革を与え、町発展の要として重要な役割を担ってきております。

しかし、七戸町を取り巻く社会情勢は、少子高齢化の進行による人口減少問題をはじめ喫緊の課題が山積する厳しい状況にあります。さらには、国際経済の加速する中、産業の競争力強化と生き残りに向け、大きな舵取りが求められております。

このような状況の下、平成28年度から平成37年度までの10年間における総合的かつ計画的な行政運営を図るため、第2次七戸町長期総合計画を町民の皆様のご協力のもと策定しました。

本計画は、第1次計画で町の将来像として提唱した「潤いと彩りあふれる田園文化都市をめざして」を継承しつつ、21世紀に生き残る七戸町を創造するための七戸町総合戦略を実践するうえで、最も重要な「羅針盤」と考えております。

町民憲章にありますように、先人の築いた多くの事を誇りに思い、これからも町民の皆様と一体となったまちづくりに邁進していく所存でございますので、本計画の趣旨をご理解賜りまして、より一層のご指導ご協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり慎重なご審議を賜りました七戸町総合開発審議会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見、ご提言を賜りましたまちづくり委員会委員の皆様や関係者の方々に、心から感謝を申し上げます。

平成28年3月  
七戸町長  
小又 勉



## 計画のあらまし

### ● 計画の趣旨

この計画は、旧七戸町と旧天間林村の2地域によりスタートした新七戸町を、魅力あふれるまちに創造することを目的としています。

### ● 計画の構成

この計画は、大きく「序論」「基本構想」「基本計画」で構成されています。この概要版では「基本構想」を紹介しています。

### ● 計画の期間

この計画の期間は、平成28年度を初年度とし、平成37年度を目標年度とする10カ年とします。

## 基本構想

### ● 基本理念

私たちは、暮らしの中に潤いが実感できる魅力と活力があふれる七戸町をめざします。

私たちは、豊かな自然や個性あふれる歴史と文化を守り、次世代に継承しながら、誇れる「ふるさと」となることをめざします。

私たちは、訪れる人たちに魅力あふれる七戸らしさとあたたかい思いやりを提供できることをめざします。

### ● 基本目標

豊かな自然のもと、連綿と受け継がれてきた多彩な産業や歴史、教育・文化を礎に、21世紀にふさわしい、地域の個性を活かした七戸町、心やさしく、人情と活力あふれる七戸町を創造するため、次のような基本目標を掲げます。

『潤いと彩りあふれる  
田園文化都市をめざして』





うるお いろど でん えん ぶん か と し  
潤いと彩りあふれる田園文化都市をめざして

基本方針

地域連携型のまちづくり

基盤整備

地域経済自立型のまちづくり

産業振興

住民参加型のまちづくり

健康・福祉・教育・文化の充実

基本構想

④ 自然と調和のとれた快適なまちづくり (生活環境の保全と整備)

- ① 良好な定住環境の整備
- ② 水源と河川の環境保全
- ③ 公共交通の充実
- ④ 環境意識の向上
- ⑤ 個性ある町並みの形成
- ⑥ 安全・安心なまちづくり
- ⑦ 情報・通信の整備

基本構想

① 快適で彩りあふれるまちづくり (都市基盤の整備)

- ① 効率的な土地利用と交通ネットワークの整備
- ② 自然災害の防止と環境保全
- ③ 安心・安全な水の供給と汚水処理

基本構想

② 活力あふれる産業のまちづくり (産業の振興)

- ① 農林畜産業の振興
- ② 商工業の振興
- ③ 観光・交流型産業の振興

基本構想

③ 心豊かに安心して暮らせるまちづくり (健康・福祉の充実)

- ① 地域医療サービス体制の整備
- ② 保健・福祉ネットワークの確立
- ③ 子ども・子育て支援の充実
- ④ 支えあうセーフティネットの構築
- ⑤ 多様なコミュニティの活動支援

基本構想

⑤ 豊かな心と文化を育むまちづくり (教育・文化の充実)

- ① 心を育む教育環境の整備
- ② 生涯学習の充実
- ③ 生涯スポーツの振興
- ④ 青少年の健全育成
- ⑤ 地域の文化の継承と発信

基本構想

⑥ 人や地域のつながりが広がるまちづくり (連携・交流の促進)

- ① 町内・県内・国内交流の促進
- ② 国際交流の推進

基本構想

⑦ 持続可能なまちづくり (住民参加と行財政改革)

- ① 協働のまちづくり
- ② 個人情報保護と危機管理体制の整備
- ③ 行財政改革の推進

1

## 快適で彩りあふれるまちづくり(都市基盤の整備)

めざす方向 効率の良い土地利用と災害時にも安心なライフラインの実現

### ① 効率的な土地利用と交通ネットワークの整備

地域の自然、社会、経済、文化等諸条件に配慮した土地利用を推進します。

駅周辺地域の活性化と、道路網の整備拡充を推進します。

近隣市町村との連携を強化し、公共施設等の計画的な整備を図ります。



町内の河川は小川原湖に流入しています

### ② 自然災害の防止と環境保全

東日本大震災や集中豪雨の教訓を生かし、住民の安全を第一に、大規模災害の発生に備えた急傾斜地や河川の災害防止対策を推進します。

町民の飲用水の水源であり、貴重な自然でもある森林の環境保全に努めます。

### ③ 安心・安全な水の供給と污水处理

町民の誇りとなっている水道水を災害時も安定的に供給するため、水道施設の整備を促進します。

污水处理施設の整備を計画的に推進します。

下水道への加入促進及び合併処理浄化槽の設置を推進します。

2

## 活力あふれる産業のまちづくり(産業の振興)

めざす方向 生産性の高い農業と観光交流型産業が牽引するまちづくりの実現

### ① 農林畜産業の振興

農業生産の基盤整備とともに、環境保全型農業への取り組みを進め、安心・安全な農産物の生産技術の確立をめざします。

農産物加工品の高付加価値化を進め、販売流通体制の強化を図ります。

後継者と中核的担い手の育成を支援します。

### ② 商工業の振興

買い物しやすい商店街の整備を推進します。また、空き店舗情報の発信や相談等、新規創業、起業へのきめ細かな支援体制を整備します。

地場産業育成のため、融資制度の活用や技術者の育成・確保を支援します。

工業用地の確保を図り、県内外からの企業誘致を積極的に進めます。

### ③ 観光・交流型産業の振興

新幹線七戸十和田駅、道の駅周辺を「七戸町の顔」と位置づけ、町内観光ルートを整備し、観光客の滞留時間の増加を図ります。

民間の観光・交流型ビジネスの起業を支援します。

外国人観光客のホスピタリティを重視した対策や活動を支援します。



しちのへ産直 七彩館

## 3

### 心豊かに安心して暮らせるまちづくり(健康・福祉の充実)

めざす方向 安心と安全のネットワークで築く、生きがいのある暮らしの実現

#### ① 地域医療サービス体制の整備

近隣市町村との連携を図りながら、公立七戸病院の医療施設の充実と医師確保に努めます。

町内の医療施設を効率的に活用した医療、保健、福祉の一体的なサービスの提供を推進します。

#### ② 保健・福祉ネットワークの確立

生活習慣病予防、介護予防、心の健康対策に、住民と行政が一体となって取り組むネットワークづくりを推進します。

高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことができるよう、地域で支えあう保健・医療・福祉の包括的なケア体制の構築を推進します。

#### ③ 子ども・子育て支援の充実

子どもは地域の宝です。妊娠初期から出産、育児までを、家庭と地域、すべての関係機関が協力して支える、健やかに育つ環境づくりを推進します。

また、働く親のワーク・ライフ・バランス実現支援のため、子育て支援制度の普及促進に努めます。

#### ④ 支えあうセーフティネットの構築(社会的包摂の推進)

高齢者や障がい者、経済的困窮や健康、介護等、日常生活に不安や困難を抱える人が増えていることから、一人ひとりの生活、健康、就労等の悩みに寄り添い、解決策を見つけるためのワンストップ支援体制を整備します。

#### ⑤ 多様なコミュニティの活動支援

東日本大震災以降、地域の安全と安心を守るには地域の力が大切だと再認識されたことから、日頃から地域の人と人がつながるコミュニティ活動を支援します。また、それらの活動の拠点となる総合的な施設の整備を推進します。



「消防職員天間林出身者の会」による  
高齢者一人暮らし世帯除雪活動

### 健康のまちづくり宣言

私たちは、誰もが健やかに生活できるよう願っています。  
そのために健康の大切さを理解し、お互いに支え合いながら健康づくりをすすめます。

- 一、朝ご飯は毎日食べ、減塩とバランスのとれた食事を心がけます。
- 一、体を動かすことを意識し、家族で様々なスポーツに取り組みます。
- 一、たばこの害を正しく理解し、たばこは吸いません。
- 一、休肝日をつくり、節度ある適切な飲酒を心がけます。
- 一、むし歯や歯周病に関する知識を持ち、家族みんなで正しい歯磨きをします。
- 一、睡眠で十分な休養をとり、自分と家族を大切にすることをもちます。
- 一、がんに関する正しい知識を持ち、年一回はがん検診を受けます。
- 一、特定健診を受け、自分の体の状態を知り生活習慣を見直します。

健康まちづくり宣言

### 七戸町合併10周年記念式典



合併10周年記念式典



## 4

### 自然と調和のとれた快適なまちづくり(生活環境の保全と整備)

めざす方向 暮らしやすさを実感できる文化的で快適なまちの実現

#### ① 良好な定住環境の整備

人口の減少が続くなか、住民の住宅ニーズも多様化しています。良好な住環境は、定住にかかせない条件となっています。

民間の活力を活かす方策を検討しながら、住宅の計画的な建て替えを推進します。

#### ② 水源と河川の環境保全

「七戸町の安全でおいしい水」の水源を守るため、水源涵養林の保全活動を町民と一体となって推進します。さらに、町内を流れる中小河川の環境保全を推進します。

#### ③ 公共交通の充実

町民の足の確保のため、コミュニティバスの運行経路やバス停の見直し等、ニーズに合わせた運行形態の改善を推進します。

また、新幹線利用客や観光客のニーズに対応した、駅を拠点とする二次交通の利便性向上を図ります。

#### ④ 環境意識の向上

3R(ゴミを出さない、再利用、再資源化)の啓発により、家庭でできる温暖化防止対策を推進します。

また、省エネルギー対策や自然エネルギー、再生可能エネルギーへの取り組みを推進します。

#### ⑤ 個性ある町並みの形成

歴史的建造物や美しい町並み、自然の造形を後世に残すため、地域住民との協働により、個性ある景観の保存や、身近な公園等公共空間の緑化と美化を推進します。

#### ⑥ 安全・安心なまちづくり

地域の実情に即した防災計画により、ハザードマップの見直し及び掲載情報の周知やコミュニティを活かした消防・防災ネットワークの構築を図ります。

総合防災訓練をはじめ、各種訓練の実施等、命を守る防災教育を推進します。

消防団組織の活性化と、消防、救急体制の近代化を推進します。

#### ⑦ 情報・通信の整備

社会保障・税番号制度(マイナンバー)及び最新システム導入に合わせた自治体クラウド導入を推進し、住民サービスの利便性向上と、情報通信基盤の整備を推進します。

また、情報の適正管理を担う人材を育成します。



太陽光エネルギーの活用(役場本庁舎)



## 5

### 豊かな心と文化を育むまちづくり(教育・文化の充実)

めざす方向 生きる力を育む教育の実現と、地域の歴史と文化を未来に伝える

#### ① 心を育む教育環境の整備

人間形成にとって最も大切な幼児期に良質な教育を受けられる環境を整備します。また、認定こども園と小学校の連携を推進します。

学校の教育機器や設備の整備のほか、学習面をサポートする人材や子どもの心の健康をサポートする人材の確保に努めます。

#### ② 生涯学習の充実

心の豊かさや健康を求めて生涯学習への意欲を持つ人が増えています。

町民の学習意欲に応えるため、提供する内容の充実と公民館、図書館等学習拠点となる施設や機器設備の整備を推進します。



町民スポーツレクリエーション祭

#### ③ 生涯スポーツの振興

子どもから高齢者まで、誰もがスポーツを楽しめる機会の提供やスポーツ活動の拠点整備を図り、健康づくりの促進とスポーツ競技力の向上に努めます。

スポーツ少年団や体育協会等の支援体制を強化し、スポーツ活動を推進する人材の育成に努めます。

#### ④ 青少年の健全育成

青少年が心身ともに健康で安全に成長できるよう、家庭と学校、地域社会が連携した子どもの居場所作り活動を支援します。

子どもの「ふるさとを愛する心」を育てる活動、スポーツや芸術の才能を伸ばす活動、心に寄り添う活動等を支援します。

#### ⑤ 地域の文化の継承と発信

七戸町に暮らす喜びと誇りを、世代を超えて共有するため、地域の祭りや芸能の継承と保護に努め、個性ある地域づくり活動を支援します。

また、貴重な遺跡や史跡の保存、動植物の保護活動を通して、国内外にその価値を示す情報発信と資料展示施設の整備を推進します。



史跡(国指定) ニツ森貝塚

## 6

### 人や地域のつながりが広がるまちづくり(連携・交流の促進)

めざす方向 「おもてなし」の心と絆の力で人と地域と世界がつながる交流社会の実現

#### ① 町内・県内・国内交流の促進

七戸町を訪れる人への「おもてなし」を推進するためのプログラムを開発、県内外の人との交流を促進します。

町内の伝統芸能、歴史文化を継承するための世代間交流を推進します。

公共施設のネットワーク化を図り、町民の生涯学習活動を支援します。

インターネットを利用した連携・交流活動を推進します。

#### ② 国際交流の推進

国際的視野を身につけるため、就学前からの外国語教育、小・中学校における外国人とのコミュニケーション交流体験、異文化に直接触れる施策を推進します。

外国人観光客のニーズに対応するための活動を支援します。



イングリッシュキャンプ

## 7

### 持続可能なまちづくり(住民参加と行財政改革)

めざす方向 信頼関係を築いて未来を創る「協働のまちづくり」の実現

#### ① 協働のまちづくり

行政と地域住民が役割分担を見直し、協力し合う「協働」によるまちづくりを推進します。

まちづくり出前座談会等を通して、住民が主体となって行う地域づくりを支援します。

#### ② 個人情報保護と危機管理体制の整備

住民との信頼関係を築きながら、個人情報を保護します。

また、高度化する情報ネットワークシステムの運用に対応する人材の育成を図り、公平・公正、確実な自治体業務を推進します。

#### ③ 行財政改革の推進

常に政策の見直し、点検を行い、職員の資質の向上、専門職員の確保、公共施設のより効率的な利用を推進します。

行政と地域住民の信頼関係を築くため、積極的な情報公開を推進します。

近隣市町村との広域連携を視野に、計画的な事業推進を図ります。



まちづくりを話し合うワークショップ



# 七戸町民憲章

「今を生きる」私たちは、  
先人の、たゆまぬ努力によって築かれ、守られてきた

○豊かな自然

○こまやかな人情

○優れた伝統と文化 を、

町の誇りとして、後世に引き継がなければなりません。

ここに私たちは、七戸町の今をみつめ、あしたを思い、  
次のことを誓います。

1. 自然をいたわり、住みよい環境をつくります。

1. よく働き、明るい家庭をつくります。

1. 節度を守り、礼儀正しくします。

1. 思いやりと奉仕の心を大事にします。

1. 教養を身につけ、心豊かに暮らします。

(平成 17 年 10 月 25 日制定)

## ● 町のシンボル ●



町の花・つつじ



町の木・いちよう



町の鳥・キジ

(平成 17 年 9 月 8 日制定)



# 七戸町

七戸町と天間林村の合併により、新しい七戸町が誕生。その新七戸町のイメージを象徴したシンボルマークは、天間林の「て」と七戸の「し」を仲良く組み合わせた「七」の文字をモチーフとし、ふたつがひとつとなって新しい七戸町を創っていくというコンセプトから生まれました。さらに「七」のカタチを町民にたとえ人物化し未来に向け飛躍する七戸町民の活力を前面にアピールしたのもあり、町の活性化と発展を目指す心を凝縮したものです。

(平成 17 年 9 月 8 日制定)